

# 平成24年度事業報告

## I 会員数

正会員 32 会員 准会員 なし

## II 総会及び理事会、監査会

### 1 総会

#### (1) 第57回通常総会

平成24年6月29日 香川県JAビルにおいて  
議 事

第1号議案 平成23年度事業報告及び貸借対照表、正味財産増減  
計算書、財産目録、財務諸表に対する注記並びに収支計  
算書の承認について

第2号議案 平成24年度事業計画及び収支予算の承認について

第3号議案 平成24年度会費及び拠出金の額並びに徴収方法について

第4号議案 肉用子牛生産者補給金交付に係る借入金について

第5号議案 公益社団法人への移行について

第6号議案 役員の改選について

付帯決議

#### (2) 臨時総会

##### 第1回

平成24年9月18日 香川県JAビルにおいて  
議 事

第1号議案 役員の補欠選任について

##### 第2回

平成25年3月6日 香川県JAビルにおいて  
議 事

第1号議案 平成25年度事業計画及び収支予算の承認について

第2号議案 平成25年度会費及び拠出金の額並びに徴収方法について

第3号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る手続きについて

第4号議案 肉用子牛生産者補給金交付に係る借入金について

第5号議案 公益社団法人への移行について

付帯決議

## 2 理事会

### 第1回

平成24年6月29日 香川県JAビルにおいて

#### 議事

第1号議案 第57回通常総会の開催及び付議議案について

第2号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正について

第3号議案 香川県家畜防疫互助事業に係る業務規程の制定について

第4号議案 特定疾病自衛防疫推進事業実施規程及び細則等の一部改正について

第5号議案 特定疾病自衛防疫推進事業に係る接種対象ワクチンの追加について

### 第2回

平成24年6月29日 香川県JAビルにおいて

#### 議事

第1号議案 会長・副会長・専務理事・常務理事の互選について

### 第3回

平成24年8月21日 香川県農業協同組合本店西の丸別館において

#### 議事

第1号議案 臨時総会の開催に関する件

第2号議案 家畜防疫運営基盤強化基金に関する件

第3号議案 公益法人移行認定申請に関する件

### 第4回

平成24年11月26日 香川県JAビルにおいて

#### 議事

第1号議案 特定費用準備資金等取扱規程の制定について

第2号議案 特定費用準備資金等の積立について

### 第5回

平成25年3月6日 香川県JAビルにおいて

#### 議事

第1号議案 平成24年度第2回臨時総会の開催及び付議議案について

第2号議案 諸規程の改廃及び制定について

付帯決議

### 3 監 査

#### 監査会

平成 24 年 6 月 5 日 香川県 J A ビルにおいて

監査事項 平成 23 年度事業監査について

### 4 その他監査・指導

香川県監査委員事務局

平成 24 年 11 月 1 日 香川県 J A ビルにおいて

地方自治法に基づく監査

## Ⅲ 事業の概要

平成 24 年度事業計画に基づき、香川県・中央団体の支援・指導及び関係諸団体並びに会員との緊密な連携を保ち、次の諸事業を実施し、本県畜産の振興に努めた。

### 《公益事業 1 畜産の経営支援に関する事業》

#### 1. 地域畜産支援指導等体制強化（地方競馬全国協会公募補助事業）

行政の補完業務の円滑な推進を図るとともに、会員及び関係団体との連携を密にして、畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化、地域畜産に対する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化、地域団体と連携協調体制の基盤強化及び地域一体型事業モデル等の創出等の事業を実施し、本県畜産経営の安定に努めた。

#### 2. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

##### （（独）農畜産業振興機構公募補助事業）

地域における肉用牛の生産・改良基盤の育成・強化を図るため、離島地域における肉用牛振興により、肉用牛経営安定対策を補完する取組支援を実施した。

区 分		内 容	奨励金 単価	金 額	備 考
地域の特色ある 肉用牛振興対策 事業	離島等子牛流通 活性化	集出荷輸送費 29 頭	600 円	17,400 円	香川県農業 協同組合
	優良子牛適正 出荷推進	出荷奨励 17 頭	3,100 円	52,700 円	

#### 3. 畜産特別資金等推進指導事業（（社）中央畜産会補助事業）

畜産経営維持緊急支援資金借受農家（2 戸）の経営計画達成のための、支援協議

会の開催（3回）、経営内容の調査・分析等を行い、改善上必要な事項について指導を行った。

地区名	資金名	貸付日	貸付金額	償還期間 (据置期間)	備考
大川	緊急支援資金 (大家畜)	H21. 11. 30	12,000,000円	8年 (3年)	2年間 無利子
仲多度	緊急支援資金 (養豚)	H22. 5. 31	84,907,000円	15年 (5年)	

#### 4. 畜産リース指導事業

##### 1) 畜産近代化リース指導等事業（(財) 畜産近代化リース協会受託事業）

(財) 畜産近代化リース協会より貸付を受けた施設・機械（バルククーラー、ミルクキングパーラー、コンプリートフィーダー、自動ほ乳機等）の巡回調査・指導を行うとともに、リース事業普及会議を開催し、借り受け農家の開拓に努めた。

##### 2) 畜産高度化支援リース事業（(財) 畜産環境整備機構受託事業）

畜産農家等に対し、畜産環境対策に必要な機械・装置や飼養管理等に必要な機械・装置をリース方式で貸し付けるリース事業の効率的な推進を図るため、普及及び整備並びに適正実施等についての指導を行った。

#### 5. 畜産経営技術高度化促進事業（香川県受託事業）

高度化する生産・経営技術に対応した支援指導を行うため、支援指導体制を整備し、畜産経営をめぐる情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図るため畜産経営技術の支援指導、インターネットによる県内畜産経営関係情報の提供を行い、本県畜産の発展に努めた。

区 分	内 容
畜産経営技術の個別支援指導	10事例
畜産経営関係情報のデータベース化	ホームページ「かがわ畜産ひろば」の運用、情報の収集・蓄積

#### 6. 地域未活用資源飼料化確立支援事業（国公募補助事業）

醬油粕などの食品残さを飼料化するための協議会を開催するとともに、飼料化及び給与実証試験並びに畜産物の評価を行い、地域エコフィード(地域未活用資源飼料化)を支援した。

区 分	内 容
協議会の開催	2回 34名
先進地調査	1回 2名
豚への給与実証試験 (給与飼料 醤油粕)	畜産試験場へ委託

## 7. 畜産関係団体調整機能強化事業（(社)中央畜産会受託事業）

県行政と緊密な連携のもと厳しい畜産環境に対処するため、畜産関係団体と連携し、県内畜産の活性化を図った。

- (1) 畜産関係団体の機能強化のため、関係団体による讃岐牛等枝肉展示共励会を開催した。
- (2) 畜産生産者の相互連携と体制強化のため、肉用牛研修会及び肉牛・酪農関係団体等による讃岐畜産仲間づくり発表大会（発表3事例）を開催した。
- (3) 畜産女性のグループ化を進め、讃岐畜産女性の会を開催するほか、第12回讃岐畜産女性の会牛枝肉展示共励会を坂出食肉卸売市場において開催した。  
また、さぬきうまいもんまつり「食の大博覧会 2012」に協力し、畜産物の展示・試食・販売を通じ、畜産に求められる消費者ニーズの把握に努めた。

## 8. 畜産関係団体運営支援事業（香川県養鶏協会・香川県養豚協会受託事業）

香川県養鶏協会・香川県養豚協会からの事務局業務を受託、実施した。

## 9. 地域畜産災害再生支援事業（(社)中央畜産会受託事業）

東日本大震災被災地域の今後の地域畜産再生に向けて参考となる耕畜連携優良事例の調査業務を実施した。（2事例）

## 《公益事業2 畜産の価格差補填に関する事業》

### 1. 肉用子牛生産者補給金制度（基金事業、(独)農畜産業振興機構補助事業、香川県助成事業）

#### (1) 肉用子牛価格安定事業

牛肉の輸入情勢の変化が肉用子牛の価格等におよぼす影響に対処するため、肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る制度で、平成24年度は、第5業務対象年間(22年度～26年度)の3年目として事業を実施し、下表のとおり生産者に対し補給金を交付した。

①平成 24 年度生産者積立金造成状況

(単位：頭、円)

品種区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
				生産者(1/4)	香川県(1/4)	農畜産業振興機構(1/2)
黒毛和種	1,033	2,200	2,272,600	568,150	568,150	1,136,300
その他の肉専用種	0	24,400	0	0	0	0
乳用種	583	12,700	7,404,100	1,851,025	1,851,025	3,702,050
交雑種	5,030	5,000	25,150,000	6,287,500	6,287,500	12,575,000
合計	6,646	—	34,826,700	8,706,675	8,706,675	17,413,350

②平成 24 年度保証基準価格及び合理化目標価格並びに平均売買価格

(単位：円)

区分	品種区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		310,000	204,000	116,000	181,000
合理化目標価格		268,000	142,000	83,000	138,000
平成 23 年度第 4 四半期		424,200	152,400	89,900	240,700
平成 24 年度第 1 四半期		402,700	130,100	81,500	218,100
平成 24 年度第 2 四半期		402,100	108,900	91,900	210,500
平成 24 年度第 3 四半期		424,800	137,800	97,800	222,700

③平成 24 年度生産者補給金交付状況

(単位：頭、円)

区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
交付頭数	0	0	603	0	603
交付金額	補給交付金	0	15,713,200	0	15,713,200
	生産者積立金	0	228,150	0	228,150
	合計	0	0	15,941,350	0

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

事務委託先 3 団体（香川県農業協同組合、香川豊南農業協同組合、社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の効率化を図った。

また、事業の円滑な実施を図るため、推進会議の開催、普及啓発、調査指導及び現地調査等を行った。

## 2. 肉用牛繁殖経営支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

### (1) 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の8割水準を下回った場合に差額の一部を補填することにより繁殖経営の所得を確保して、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図る事業であるが、平成24年度については、交付実績はなかった。

肉用牛繁殖経営支援交付金交付状況 (単位：頭、円)

区 分	黒毛和種	その他の肉専用種	合 計
発動基準	380,000	250,000	—
交付頭数	0	0	0
交付金額	0	0	0

### (2) 肉用牛繁殖経営支援地域推進事業

(独) 農畜産業振興機構及び香川県並びに事務委託先3団体（香川県農業協同組合、香川豊南農業協同組合、社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、事業内容の周知及び円滑な実施を図るため、推進会議の開催、普及啓発等を行った。

## 3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（（独）農畜産業振興機構公募補助事業、香川県助成事業）

### (1) 肥育牛補填金交付対策

肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的に、四半期ごとの肥育牛1頭当たりの粗収益（全国平均）が生産費（全国平均）を下回った場合に、生産者の拠出と県及び農畜産業振興機構の助成により造成した肥育安定基金から、肥育牛1頭当たりの粗収益と生産費との差額の8割を肥育牛補填金として交付した。

平成24年度は、第1業務対象年間（平成22年度～24年度）の3年目として事業を実施し、下表のとおり契約生産者に対し補填金を交付した。

なお、牛肉・稲わらからの暫定規制値等を超えるセシウム検出に関する緊急対応策のうち、肥育経営の支援対策として、平成23年度第2四半期より毎月補填を行っている。

平成 23 年度事業（平成 24 年 2 月～3 月）

①肥育安定基金造成状況

（単位：頭、円）

品種 区分	積立 頭数	積立 単価	積立 所要額	負担区分		
				生産者	香川県	農畜産業 振興機構
肉専用種	564	52,000	29,328,000	7,185,360	146,640	21,996,000
交雑種	522	100,000	52,200,000	12,789,000	261,000	39,150,000
乳用種	206	72,000	14,832,000	3,633,840	74,160	11,124,000
計	1,292	—	96,360,000	23,608,200	481,800	72,270,000

②肥育牛補填金交付状況

（単位：頭、円）

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	447	681	175	1,303
金額	23,878,600	103,197,300	19,506,200	146,582,100

平成 24 年度事業（平成 24 年 4 月～平成 25 年 1 月）

①肥育安定基金造成状況

（単位：頭、円）

品種 区分	積立 頭数	積立 単価	積立 所要額	負担区分		
				生産者	香川県	農畜産業 振興機構
肉専用種	2,739	52,000	142,428,000	34,894,860	712,140	106,821,000
交雑種	3,541	120,000	424,920,000	104,105,400	2,124,600	318,690,000
乳用種	929	120,000	111,480,000	27,312,600	557,400	83,610,000
計	7,209	—	678,828,000	166,312,860	3,394,140	509,121,000

②肥育牛補填金交付状況

（単位：頭、円）

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	2,315	3,608	924	6,847
金額	74,687,500	348,634,800	72,113,400	495,435,700

(2) 肥育経営安定推進

本事業の推進、個体登録・販売申出、積立金納入、肥育牛補填金交付業務等について事務委託先 3 団体（香川県農業協同組合、香川豊南農業協同組合、社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て推進を行った。

4. 養豚経営安定対策事業に係る業務委託事業（（独）農畜産業振興機構公募受託事業、生産者受託事業）

養豚経営安定対策事業が、（独）農畜産業振興機構の直接交付方式になったことに



に伴い、生産者に対し事業説明会（1回）を開催して事業内容の周知を図った。

①生産者積立金等造成状況

(単位：頭、円)

区 分 期 間	積立頭数	積立単価	積立所要額	負担区分	
				生産者 (1/2) (県費助成を含む)	農畜産業振興 機構 (1/2)
平成 24 年 4 月～9 月	20,888	1,400	29,243,200	14,621,600	14,621,600
平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月	20,842 ※738	4,400 1,400	92,738,000	46,369,000	46,369,000
計	42,468	—	121,981,200	60,990,600	60,990,600

※印：販売実績がなかった頭数で、積立金の一部免除対象である。

② 養豚補填金交付状況

(単位：頭、円)

区 分	補填頭数	補填単価	補填金額
第 1 四半期	10,147	1,230	12,480,810
第 2 四半期	10,741	120	1,288,920
第 3 四半期	11,571	4,310	49,871,010
第 4 四半期	9,271	4,250	39,401,750
計	41,730	—	103,042,490

## 《公益事業 3 家畜の生産衛生に関する事業》

### 1. 家畜生産農場衛生推進事業

#### 1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業（国公募補助事業、独自事業）

生産農場における疾病の清浄化及び発生予防・流行防止のため、ワクチン接種推進に係る策定会議を開催し接種計画等を策定するとともに、吸血昆虫媒介疾病によるワクチン接種の推進や家畜防疫の実施のための経費助成等を行った。

- |                          |     |      |      |
|--------------------------|-----|------|------|
| (1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫推進講習会 | 1 回 | 参集人員 | 18 名 |
| (2) 飼養衛生管理強化対策事業に係る検討会   | 2 回 | 参集人員 | 28 名 |
| (3) 飼養衛生管理強化推進講習会        | 2 回 | 参集人員 | 33 名 |
| (4) ワクチン接種計画策定会議         | 1 回 | 参集人員 | 10 名 |
| (5) 事業推進会議               | 1 回 | 参集人員 | 18 名 |

## (6) 疾病発生・流行防止支援対策事業

(単位：頭)

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
牛	牛異常産三種混合	5,000	2,625	2,085	4,710	94
	牛アカバネ病	5	0	0	0	0
	牛イバラキ病	900	635	240	875	97
	牛流行熱	20	9	0	9	45
	牛流行熱・イバラキ病	20	14	0	14	70

## 2) 馬インフルエンザ等防疫推進事業（家畜衛生対策推進協議会受託事業）

乗用馬等の馬インフルエンザワクチン接種を促進し、自主防疫活動の重要性についての普及啓発等への取組みを行い、地域での防疫体制を再構築した。

## (1) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業

区分	実施頭数
ワクチン接種頭数	44頭

## (2) 地域自主防疫活動普及・啓発事業

地域自主防疫推進会議の開催 2回 参集人員 46名

## 3) 特定疾病防止事業（独自事業）

牛・豚の各種疾病（牛コロナウイルス・牛ヘモフィルス・牛大腸菌性下痢症、豚丹毒・日本脳炎・豚パルボ等）の発生予防のため、指定獣医師により予防接種を実施した。

(単位：頭)

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
豚	豚丹毒	4,000	172	3,210	3,382	85
	日本脳炎	1,700	7	1,580	1,587	93
	パルボ	0	0	0	0	0
	日本脳炎・豚パルボ混合	300	0	251	251	84
	日脳・パルボ・ゲタ	2,100	80	1,283	1,363	65
	TGE・PED混合	600	0	554	554	92

(単位：頭)

区 分	計画頭数	実 施 頭 数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
牛	牛IBR	20	0	0	0	
	牛三種混合	500	0	0	0	
	牛四種混合	20	0	0	0	
	牛五種混合	2,350	1,449	249	1,698	72
	牛六種混合	100	0	0	0	0
	牛ヘモフィルス	1,300	463	62	525	40
	牛大腸菌性下痢症	200	45	66	111	56
	牛RSウイルス感染症	400	0	0	0	0
	牛コロナウイルス感染症	2,000	789	654	1,443	72
	牛下痢五種混合	500	254	216	470	94
	マンヘミア・ヘモリチカ	1,000	388	34	422	42
	牛クロストリジウム・ボツリヌス感染症	30	30	0	30	100

## 指定獣医師の指定

区 分	指定人数
社団法人 香川県獣医師会	5名
香川県農業共済組合連合会	24名
計	29名

## 2. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（国公募補助事業）

死亡牛の円滑な処理及びBSE検査を推進して、BSEに対する不安を払拭するため、県内で死亡した牛の所有者に対し処理経費助成等を行った。

区 分	内 容
死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会	1回 参集人員 23名
死亡牛検査処理安定化対策	処理頭数 279頭

## 3. 家畜防疫互助基金支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

口蹄疫、豚コレラ等が発生した場合に備え、発生時の経済的損失を互助補償する互助基金の仕組み等について、周知、参加促進を図り、24年度から開始する事業実施期間（24～26年度）の生産者積立金を徴収し、（社）中央畜産会で基金を造成した。

## 生産者積立金造成状況

(単位：戸、頭、円)

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者	
				積立金単価	積立金計
牛	乳牛 (24ヶ月齢以上)	260	4,500	260	1,170,000
	乳牛 (24ヶ月齢未満)		764	130	99,320
	肉専用種繁殖雌牛 (24ヶ月齢以上)		1,196	260	310,960
	肉専用種繁殖雌牛 (24ヶ月齢未満) 及び肉専用種肥育牛		5,956	195	1,161,420
	肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛		9,855	130	1,281,150
	乳用種肥育牛		1,653	130	214,890
	合計		283	54,849	—
豚	繁殖用種豚 (雌)	23	3,688	120	442,560
	繁殖用種豚 (雄)		213	240	51,120
	肥育豚 (21日齢以上)		27,024	40	1,080,960

## 《公益事業 4 畜産及び畜産物の普及啓発に関する事業》

## 1. 讃岐三畜銘柄確立総合対策事業（讃岐三畜銘柄化推進協議会補助事業）

讃岐三畜（讃岐牛、讃岐夢豚、讃岐コーチン）の銘柄確立を一体的・効率的に推進するため、推進協議会を開催して讃岐三畜販売促進のための企画調整等を行い、県内外におけるイベントへの参加、消費者懇談会、料理教室の開催、ホームページを活用した讃岐牛生産農家情報の開示などに取り組み、県産特産畜産物として認知度を高めるとともに、流通消費拡大に努めた。

また、讃岐牛・オリーブ牛の生産・販売体制を構築するとともに、海外への輸出にも着手し、今後の生産販売の基礎確立に努めた。

## 2. 牛乳乳製品消費促進事業（独自事業）

牛乳乳製品の消費促進のため、「ミルクメッセ in かがわ 2012」のイベントを開催し、牛乳・乳製品消費啓発パンフレットの配布、ミルクドリンクのレシピ紹介及び試飲、手作りバター体験等を実施した。

実施回数	イベント名	実施場所
1回	さぬきうまいもんまつり 「食の大博覧会 2012」	高松市 サンメッセ香川 大展示場

### 3. 学校給食用牛乳供給事業（（独）農畜産業振興機構公募補助事業）

安全で品質の高い国内産牛乳を学校給食用に年間継続して計画的かつ効率的に供給することを推進するための事業を実施した。

#### (1) 供給円滑化推進事業

学校給食用牛乳の供給についての共通認識等を醸成し、地域の特性を踏まえた効率化を推進するため、協議会等を開催した。

区 分	回 数
学校給食用牛乳推進協議会	2 回
学校給食用牛乳推進協議会による実態調査	1 回
保育所等飲用拡大推進会議	1 回

#### (2) 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

学校給食用牛乳の安定的な需要の確保、保護者負担額の軽減を図るため、不利な供給条件に基づく掛り増しとなる経費相当額の一部について、供給数量に応じ供給業者に交付した。

供給本数	対 象 地 区
458,654 本	小豆島町、土庄町、直島町

## 《収益事業 生乳(原料牛乳)の検査に関する事業》

### 1. 生乳検査事業

酪農経営の安定と生乳の品質改善等のため、畜産農家の依頼による生乳の成分、品質などの検査を実施した。

### 2. 生乳検査受託事業（四国生乳販売農業協同組合連合会受託事業）

四国生乳販売農業協同組合連合会の委託を受けて生乳検査を実施した。

検査件数は 188,685 件で前年比 97.0%であった。項目別検査の前年比は配分検査 94.5%、牛群検査 96.5%、依頼検査 109.5%であった。

四国四県の項目別検査件数（参考）

（単位：検体数）

区 分	24 年度					23 年度
	香川県	徳島県	愛媛県	高知県	4 県合計	
配分検査	5,498	7,313	8,923	3,632	25,366	26,830
牛群検査	28,165	28,256	61,598	32,072	150,091	155,528
依頼検査	8,432	4,399	0	397	13,228	12,079
合 計	42,095	39,968	70,521	36,101	188,685	194,437

## 《その他事業 その他畜産振興に関する事業》

- 1 会員である市・町及び農業協同組合等の開催する畜産共進会・肉牛枝肉共励会・乳質改善共励会等に協賛し、賞状・賞品を提供した。
- 2 畜産指導機関と連携して畜産振興に関する技術の普及に努めた。
- 3 畜産経営技術等に関する指導資料を定期的に会員・畜産関係団体等に配布し、畜産情勢・新技術等に関する情報の提供を行った。